

第2回 地元協議会

令和4年3月26日（土）

多摩ニュータウン環境組合

定例報告（第1部）

1 令和3年度多摩清掃工場の運営について

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| (1) 主な事業の取り組み | (4) 構成市間応援協定に基づく処理支援の状況 |
| (2) ごみ搬入量の推移 | (5) 焼却炉運転日数 |
| (3) 多摩清掃工場へのごみ搬入量 | (6) 環境測定結果 |

2 令和3年度リサイクルセンター運営状況について

3 令和4年度予算概要について

4 令和4年度の事業予定について

5 その他

- (1) 東京都との災害時における施設使用等に関する協定について
- (2) 中期経営計画ビジョン2027について
- (3) 多摩地域における宿泊療養施設のごみ処理広域支援について
- (4) ごみ処理区域の変更について
- (5) 町田市の可燃ごみ処理支援の開始について

6 質疑応答

連絡調整（第2部）

- 1 多摩清掃工場の施設老朽化への対応について
 - （1）最適な建替え時期の検討について
 - （2）清掃工場に係る最近の動向について
 - ①最新施設の事例紹介
 - ②環境性能
 - ③有効な地元還元方法
 - ④ごみ処理区域の広域化・施設の集約化の動き
 - ⑤その他
- 2 最新施設の視察研修について
- 3 質疑応答
- 4 今後の予定

（参考資料）視察先候補

定例報告

1 令和3年度 多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み

- 環境について
 - ・ ISO14001の適切な運用



外部審査員による定期審査を毎年実施しており、環境マネジメントシステムが有効に機能していることが認められました。

➤ 省エネ化について

- ・ 天井照明をLEDに更新



👉 焼却プラットホームの天井照明をLEDに更新し、明るさと省エネを実現しました。

使用電力が従来に比べ削減し、より明るくなって寿命も延びました。

- ・ 空気圧縮機を省エネ型へ更新

空気圧縮機を省エネ型のコンプレッサーに更新し、使用電力を削減しました。



➤ 飛灰搬出改造工事が完了

これまで薬剤で固めてから搬出していた飛灰を、固化しない状態で搬出することで運用コストを削減できるようになりました。



飛灰を運搬する吸引車両
真空ポンプで飛灰を吸引し、
タンク内に貯留して安全に運搬します。



積込みの様子

➤たまかんニュース

- ・年2回 各81,000部発行
(新聞折込)
- ・地域版年2回 各回約3,400世帯
(ポスティング)

➤学校・一般等の施設見学会の実施

- ・20団体 666人参加

➤地元協議会の実施

- ・令和3年 8月28日(土)

多摩ニュータウン環境組合

第37号

令和4年1月発行

たまかんニュース

～多摩ニュータウン環境組合は八王子市・町田市・多摩市で構成された一部事務組合です～

多摩ニュータウン環境組合・多摩清掃工場の経営方針
環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場



編集・発行
多摩ニュータウン環境組合
多摩市 唐木田二丁目1番地1
問合せ 午前8時30分～午後5時15分
(土・日・祝日を除く)
ホームページ
<https://www.tama-seisokajo.or.jp/>
☎ 042-374-6331 FAX 042-337-5061

「煙突登りにチャレンジ!」開催

今回の煙突登りは澄んだ空を望める冬に行います。清掃工場が全炉停止という状況のため、これまでの見学ではお見せできなかった煙突の点検口の外をご覧頂けます。

また、日没に併せての見学も用意しており、夕暮れや夜景を楽しめます。

▶日 時：令和4年2月1日(火)・3日(木)
9:00 / 10:00 / 11:00 / 16:30(サンセット煙突登り)
令和4年2月5日(土)
9:00 / 10:00 / 11:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 /
16:30(サンセット煙突登り)
各回1グループのみ

▶対象者・定員：小学校3年生以上(小学生は保護者同伴必須)
1グループ 10名まで 体力に自信のある人

▶申し込み開始日：1月24日(月)より 電話にて受付

☎042-374-6331 ※電話受付可能時間：平日8:30～12:00/13:00～17:15

▶その他：水筒・タオル等をお持ちください。服装は動きやすい服装を推奨します。
登頂風景の撮影を行います。ご了承ください。



▲煙突から見た風景

※雨天決行

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止する可能性があります。中止の場合は、申込者にご連絡いたします。また、最新の情報は当組合のホームページでご確認ください。

困ってます!! リチウムイオン電池 パート2

第36号でリチウムイオン電池の危険性をお知らせしましたが「では、どう処分したらいいの?」というお問い合わせを多く頂きました。

各市(八王子市、町田市、多摩市)とも電池を取り外せる製品は、リサイクル協力店へのリチウムイオン電池の持込をお願いしています。電池を取り外せない製品は、各市でルールが異なります。詳しくは各市のホームページ等でご確認ください。



▲リチウムイオン電池のストック状況

八王子市



ごみ減量対策課
☎042-620-7256

町田市



3R推進課
☎042-797-0530

多摩市



ごみ対策課
☎042-338-6836

臨時休館のお知らせ

1月29日(土) 施設点検のため、エコにごセンターは臨時休館します

環境ポスター募集しました!

たまかんフェスタでお披露目予定だった、近隣の小学校や児童館にて募集したポスターコンクール応募作品全45点を展示しています。管理棟エントランスにて、自由にご覧いただけます。ご応募ありがとうございました!



飛灰搬出改造工事をしました

今まで飛灰®を薬剤等で固化処理して搬出していましたが、改造工事を実施することで、固化処理せず飛灰をそのまま搬出できるようになりました。これにより、固化処理していたときと比べ搬出量を約35%削減するとともに、固化処理に使用していた薬剤等にかかる費用、年800万円を削減することができました。



※飛灰とは、ごみを焼却した際に発生する「すす」のことで、排ガス処理設備で捕集された灰のことです。

➤地域交流事業の実施

- ・令和3年10月17日
『たまかんフェスタ』



コロナウイルス感染症拡大防止のため

中止

➤煙突登りにチャレンジ

- ・令和4年1月31日～2月6日
(来場者 延べ 56名)



➤クリーンアップ作戦

組合職員、工場運転管理受託者職員による工場周辺美化活動（12月を除く毎月第3水曜日）

➤唐木田クリーンアップ作戦2021

令和3年12月27日（月）開催

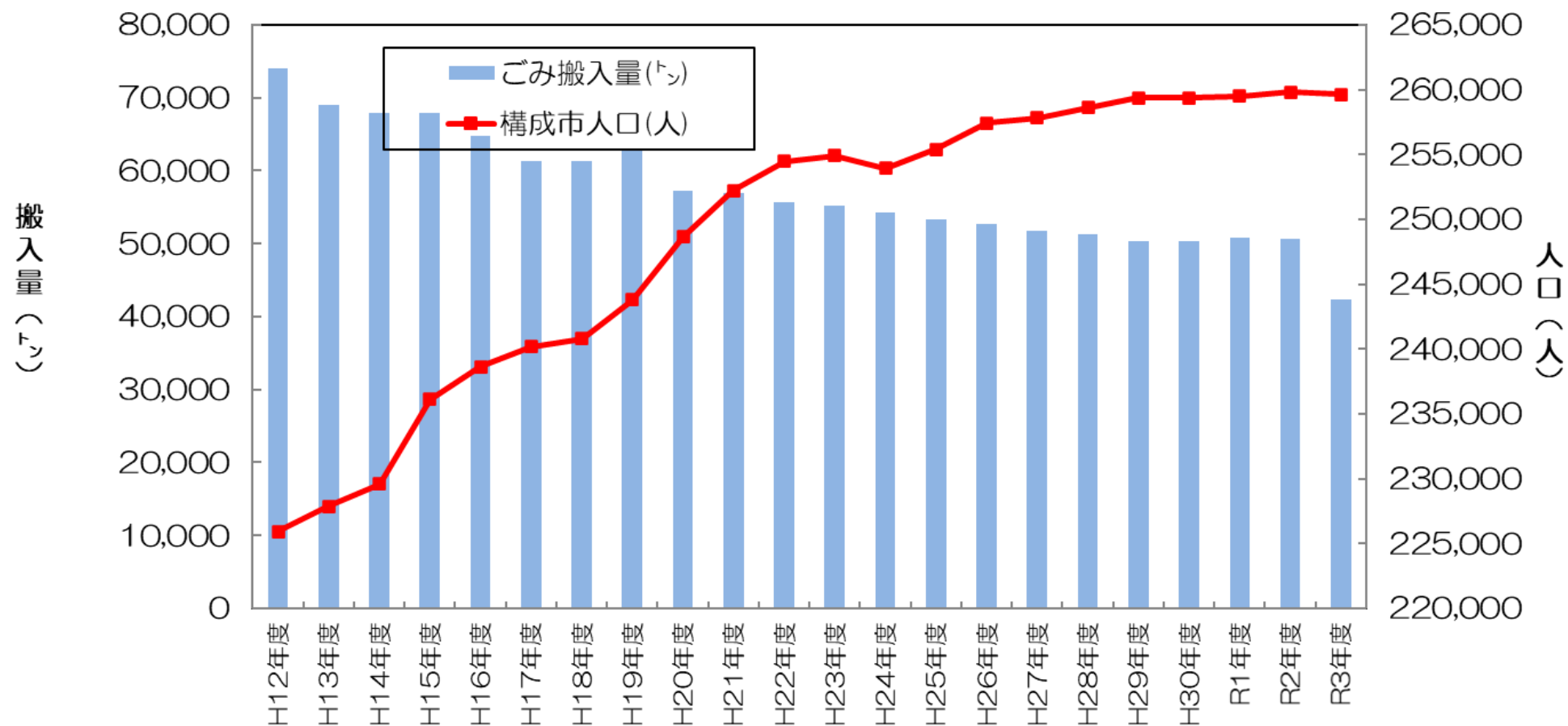
17団体 92名の参加

➡ 51. 4kgのごみを収集



(2) ごみ搬入量の推移

(構成市処理区域内の可燃ごみ＋不燃ごみ＋粗大ごみ)



※R3年度は1月時点での搬入量になります。

(3) 多摩清掃工場へのごみ搬入量 (令和3年度)

(単位：トン)

		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	合計
構成市	(処理区域内)	46,884.92	1,737.21	2,037.83	50,659.96
	(八王子拡大区域)	8,298.92			8,298.92
	(八王子市応援分)	754.85			754.85
	(町田市応援分)	248.63	141.62		390.25
合 計		56,187.32	1,878.83	2,037.83	60,103.98

(4) 構成市間応援協定に基づく処理支援の状況

八王子市からの「応援ごみ」受入れ状況

◇ 受入期間	令和3年 5月31日から令和3年6月18日まで	
受入理由	戸吹清掃工場の定期点検による休炉のため	
ごみ種	家庭系可燃ごみ	
搬入量と台数	339.38トン	137台
◇ 受入期間	令和3年 9月13日から令和3年10月29日まで	
受入理由	北野清掃工場の定期点検による休炉のため	
ごみ種	家庭系可燃ごみ	
搬入量と台数	415.47トン	162台

町田市からの「応援ごみ」受入れ状況

◇ 受入期間 令和4年 2月21日から当面の間

受入理由 町田市バイオエネルギーセンター不燃粗大ごみ処理施設で
火災が発生し、ごみの受入れが出来ないため

ごみ種 可燃ごみ 不燃ごみ

搬入量と台数 可燃ごみ 248.630トン 154台

不燃ごみ 141.620トン 191台

(5) 焼却炉運転日数

	令和2年度予定	令和3年度計画	令和4年度計画
1炉運転日数（日）	320	305	326
2炉運転日数（日）	0	6	4
全炉停止日数（日）	45	54	39

（６）環境測定結果

排出ガス調査（ばい煙等）

年 度		令和 3 年度					
測定年月日		R3.5.17	R3.7.13	R3.9.13	R3.11.22	R4.1.12	R4.3.1
運転炉		3号炉	2号炉	2号炉	3号炉	3号炉	2号炉
ばいじん	濃 度 [g/m ³ _N]	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	排出基準値：0.08g/m ³ _N 自主規制運用値：0.02g/m ³ _N						
硫黄酸化物	濃 度 [ppm]	9	6	4	4	4	4
	排出量 [m ³ _N /h]	0.50	0.34	0.26	0.19	0.23	0.24
	排出基準値 [m ³ _N /h]	90.9	92.4	90.9	87.8	90.9	92.4
	自主規制運用値：20ppm						
窒素酸化物	濃 度 [ppm]	42	27	31	33	31	29
	排出基準値：250ppm 自主規制運用値：56ppm						
塩化水素	濃 度 [ppm]	22	10	11	20	10	7
	排出基準値：430ppm 自主規制運用値：25ppm						
全水銀	濃 度 [μg/m ³ _N]	8.3	23	13	1.7	5.0	7.6
	排出基準値：50μg/m ³ _N						

排出ガス調査（ダイオキシン類）

単位：ng-TEQ/m³_N

令和3年度					
測定炉	排出基準	R3.4.5	R3.7.12	R3.10.1	R4.1.11
2号炉	法規制値：1	休炉中	0.0021	0.000043	分析中
3号炉	自主規制運用値：0.01	0.0030	休炉中	休炉中	休炉中

大気中のダイオキシン類調査

単位：pg-TEQ/m³

年 度	調査名等		調査地点				環境基準
			からきだの道	中坂公園	小山田緑地	別所公園	
令和3年度	焼却炉稼動時	夏期調査 (7/9～16)	0.011	0.014	0.011	0.014	0.6
		冬期調査 (1/7～14)	分析中	分析中	分析中	分析中	
	年平均値（稼動時）		0.011	0.014	0.011	0.014	
	焼却炉停止時調査 (1/17～24)		分析中	分析中	分析中	分析中	

放射能調査

年度		令和3年度	
測定項目		直近測定値(3月)	最小値 ～ 最大値
排出ガス	放射能濃度 (単位：Bq/m ³ N)	不検出	全て不検出
焼却灰	放射能濃度 (単位：Bq/kg)	不検出	不検出 ～ 15.6
飛灰固化物又は飛灰		35.9	24.3 ～ 69.5
敷地境界	空間放射線量率 (単位：μSv/h)	0.07	0.05 ～ 0.10
大気中		0.06	0.04 ～ 0.08

不検出とは・・・その分析方法で対象物質が検出できる最低濃度のことです。

排出ガスの基準：

$$[(\text{セシウム134 の濃度} \div 20) + (\text{セシウム137 の濃度} \div 30)] \leq 1$$

焼却灰と飛灰固化物の基準値：8,000 Bq/kg

2 令和3年度 リサイクルセンター運営状況について

➤開館日数・来館者数

247日 14,115人（内講座等726人・一般来館者等13,389人）

➤主催講座、イベント開催実績

104回（主催講座96回、イベント等8回）

➤リサイクル品販売実績

家具・木材等	5,835点
自転車用部品	50点

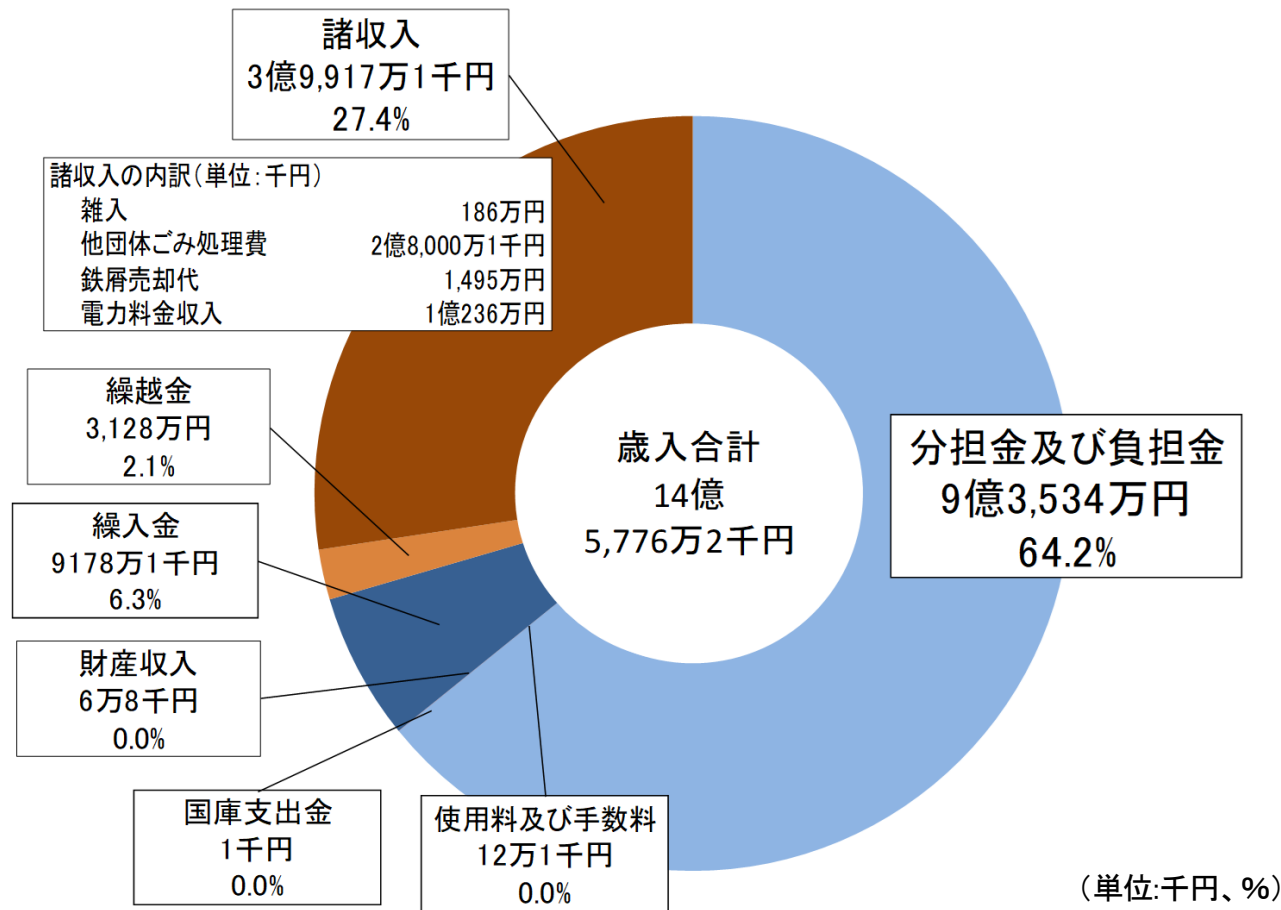
➤不用食器のリサイクル

持込者	429人
回収量	リユース分（講座等内部使用で約10kg）
	リサイクル分搬出量 未搬出

（2月28日現在）

3 令和4年度 予算概要について

歳入



款	令和4年度		令和3年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1 分担金及び負担金	935,340	64.2	1,048,880	69.3	△ 113,540	△ 10.8
2 使用料及び手数料	121	0.0	121	0.0	0	0.0
3 国 庫 支 出 金	1	0.0	538	0.0	△ 537	△ 99.8
4 財 産 収 入	68	0.0	26	0.0	42	161.5
5 繰 入 金	91,781	6.3	108,362	7.2	△ 16,581	△ 15.3
6 繰 越 金	31,280	2.1	30,660	2.0	620	2.0
7 諸 収 入	399,171	27.4	325,471	21.5	73,700	22.6
計	1,457,762	100.0	1,514,058	100.0	△ 56,296	△ 3.7

歳入予算の主なもの — (対前年度比) —

○負担金

9億3,534万円で、1億1,354万円の減（10.8%減）

【構成市別負担金内訳】

- ・八王子市 3億3,518万1千円 (35.8%)
- ・町田市 1億3,403万円 (14.3%)
- ・多摩市 4億6,612万9千円 (49.9%)

○繰入金

9,178万1千円 (1,658万1千円増)

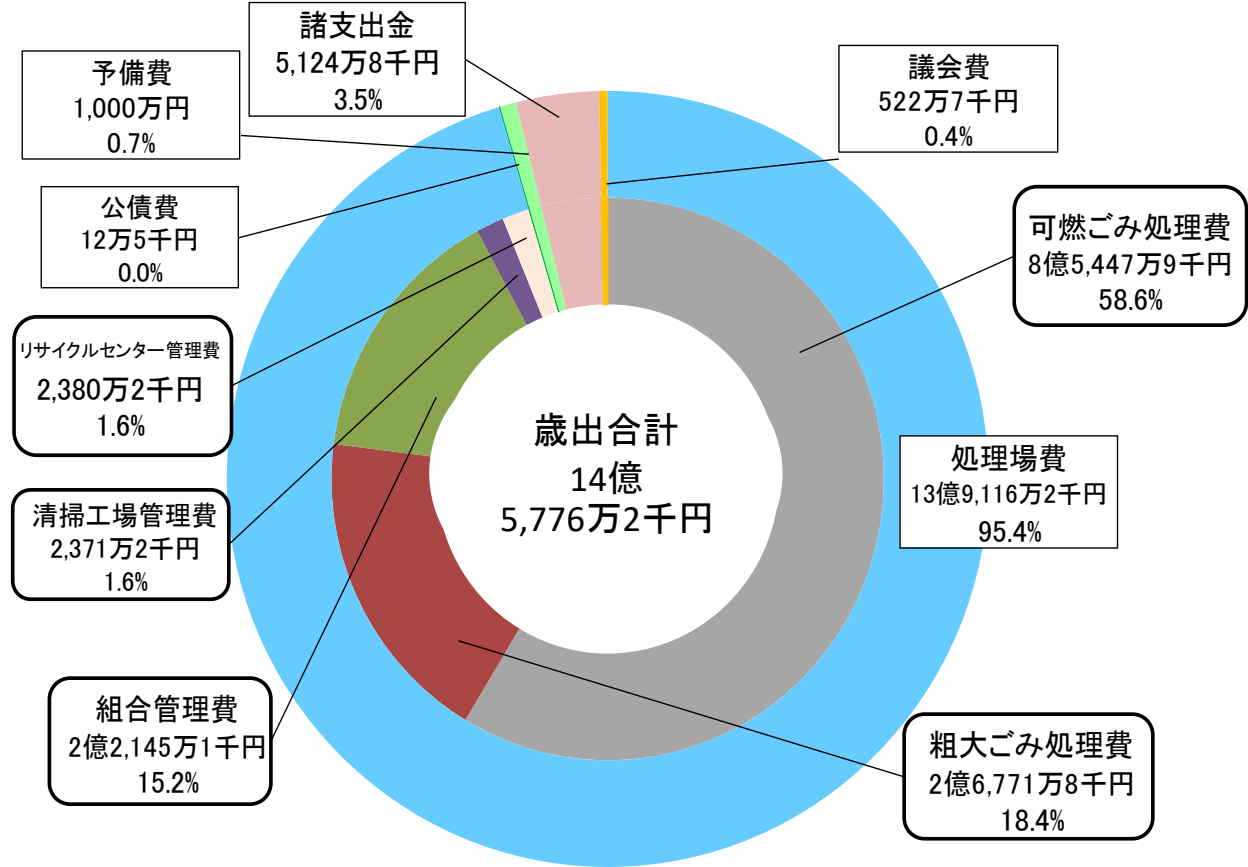
- ・施設整備基金繰入金 802万円（工事への対応）
- ・財政調整基金繰入金 8,376万1千円（財源調整）

○諸收入

3億9,917万1千円 (7,370万円増)

- ・ 町田市支援ごみ処理費 2億8,000万円（皆増）
- ・ 売電収入 1億236万円（2,415万4千円増）

歳出



(単位:千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	5,227	0.4	4,538	0.3	689	15.2
2 処理場費	1,391,162	95.4	1,436,111	94.8	△ 44,949	△ 3.1
3 公債費	125	0.0	125	0.0	0	0.0
4 予備費	10,000	0.7	10,000	0.7	0	0.0
5 諸支出金	51,248	3.5	63,284	4.2	△ 12,036	△ 19.0
計	1,457,762	100.0	1,514,058	100.0	△ 56,296	△ 3.7

歳出予算の主なもの

－増減の大きなもの－

○処理場費

13億9,116万2千円で、4,494万9千円の減（3.1%減）

・委託料	総額	6億7,760万3千円	(3,693万2千円増)
工場運転等管理業務委託料		4億9,446万9千円	(3,620万8千円増)
脱臭用活性炭入替え委託料		0千円	(1,652万1千円減)
残灰等運搬業務委託料		4,385万9千円	(1,827万3千円増)
・工事請負費	総額	3億6,073万4千円	(8,864万1千円減)
機器補修工事		3億4,169万3千円	(5,537万4千円減)
飛灰搬出改造工事		0千円	(3,245万円減)

4 令和4年度の事業予定について

➤多摩清掃工場周辺のクリーンアップ作戦

- ・毎月第3水曜日 9時～

組合職員、工場運転管理受託者職員による多摩清掃工場周辺の道路、公園等のごみ拾いを実施

➤地域交流事業（たまかんフェスタ）

- ・令和4年10月16日（日）実施予定

からきだ菖蒲館、多摩市社会福祉協議会、大妻女子大学と連携した多摩清掃工場を地域の皆様に開放したイベントを実施

➤地域交流事業（唐木田クリーンアップ作戦）

- ・令和4年12月26日（月）実施予定

多摩清掃工場周辺の児童館、市民、事業者の皆様と実行委員会形式でイベントを企画し、清掃活動を通じて顔が見える関係を構築

5 その他

(1) 東京都との災害時における施設使用等に関する協定について

協定締結先：東京都

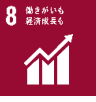
協定内容：大規模災害時（首都直下・多摩直下地震）に、災害応急対策のために他県からの救出救助機関（警察、消防等）や民間ライフライン機関等の救出救護活動拠点として多摩清掃工場の施設を使用する。

協定期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
期間満了の3か月前までに解約の申出がないときは、この協定の有効期間を更に1年間延長する。

協力内容

- 1 大規模救出救助活動拠点として使用可能なスペースの提供
- 2 大規模救出救助活動拠点開設に必要な資機材、被服、消耗品等の保管
- 3 多摩清掃工場の運転業務に支障のない範囲で、東京都が必要とする事項

(2) 中期経営計画ビジョン2027について

経営方針	目 標	取組項目	取組内容
 環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場	1 安全で持続可能な循環型処理の推進      	(1) 効果的な維持管理の推進	① 長期修繕計画の更新・実施 ② エコセメント化施設更新時の対応
		(2) 施設の安定・継続稼働	③ リチウムイオン電池の処理検討 ④ 効果的な薬品の検討 ⑤ 運転管理業務委託の内容及び業務の効率化の検討
		(3) 危機管理体制の強化	⑥ 緊急停止時対応計画の更新 ⑦ 災害時における施設活用方法の検討
		(4) 資源・エネルギーの有効活用	⑧ 電力の有効活用 ⑨ 二酸化炭素削減・省エネ化の取組の推進 ⑩ EV導入の検討
	2 効率的で開かれた組合運営の推進      	(5) 効果的な人財活用の推進	⑪ 人財育成方針に基づく効果的な研修の展開 ⑫ 人事計画の見直し
		(6) 効率的な事務執行の推進	⑬ 事務システムの見直し ⑭ 契約事務の見直し ⑮ 組合独自の歳入事業の検討
		(7) ニーズに即した啓発事業と情報発信	⑯ 情報発信の充実 ⑰ リサイクルセンター運営事業の展開
	3 地元住民理解・構成市との連携の推進  	(8) 地元住民との関係強化	⑱ 地元協議会の運営 ⑲ 地域交流事業の実施
		(9) 構成市との相互協力の推進	⑳ 構成市イベントへの参加 ㉑ 工場連絡会の充実 ㉒ 広域化の検討

(3) 多摩地域における宿泊療養施設のごみ処理広域支援について

東京都で運営している新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設から排出されるごみの処理について、処理を行っている多摩川衛生組合が定期修繕の間、処理ができなくなるため、多摩清掃工場で処理を行いました。

受入れ期間

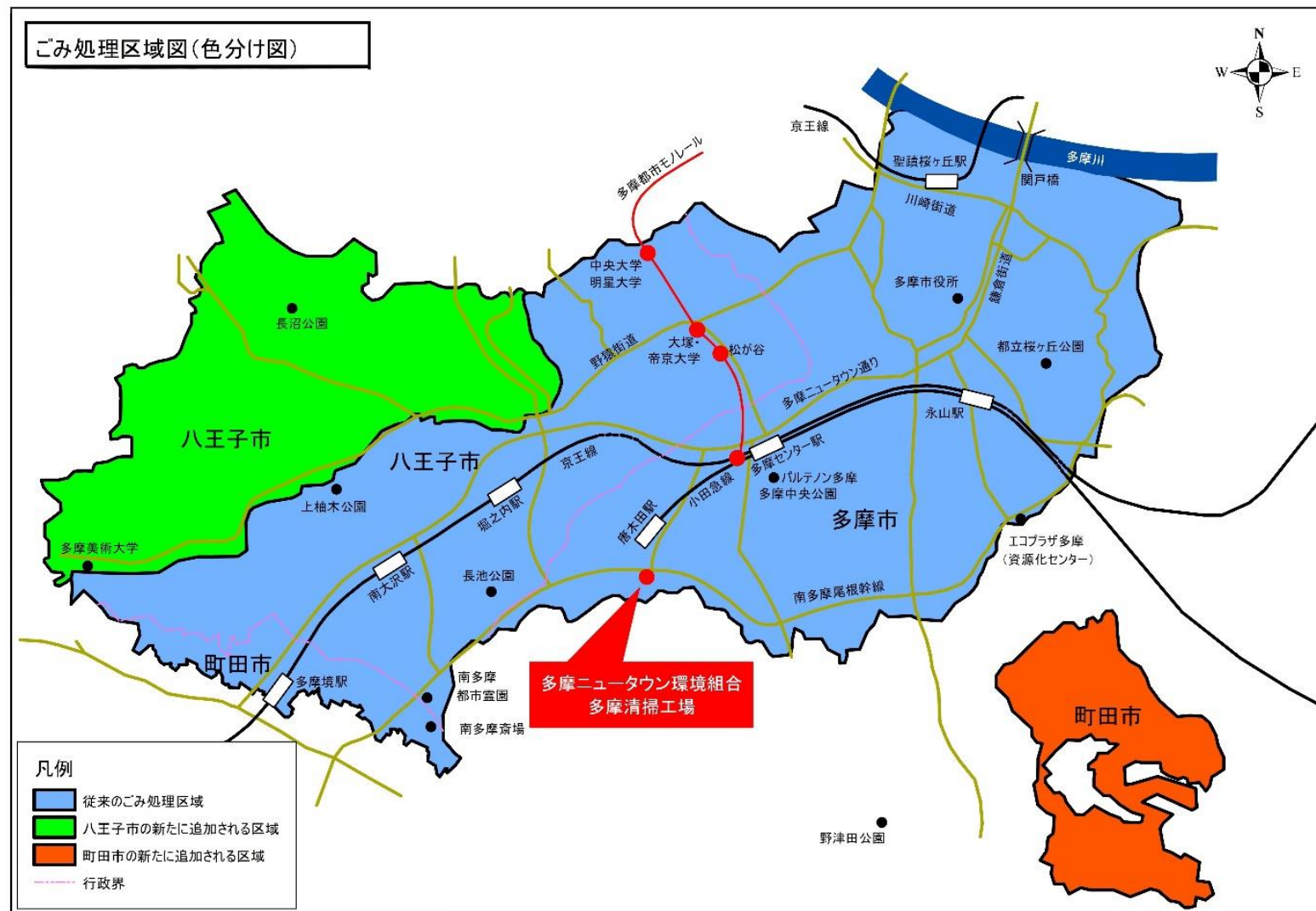
令和4年2月14日（月）から 2月28日（月）まで

搬入量 事業系一般廃棄物 5, 030 k g

(4) ごみ処理区域の変更について

ごみ処理区域の変更

- 八王子市（変更区域：緑色）
鍵水、北野台、絹ヶ丘、中山、
上柚木、下柚木、南陽台、長沼町
越野、堀之内
- 町田市（変更区域：橙色）
真光寺、真光寺町、広袴、広袴町
鶴川団地、大蔵町



(5) 町田市の可燃ごみ処理支援の開始について

町田市の可燃ごみ処理支援

令和4年度から町田市の「可燃ごみ処理支援要請」に基づき、家庭系可燃ごみの搬入が始まります。

支援期間：令和4年4月～令和8年3月（4年間）

ごみ種：家庭系可燃ごみ

搬入量：最大10,000t/年※

※ 搬入量は毎年度見直し、年間10,000tを上限に新施設で処理しきれない量となります。

町田市のごみ減量に向けた取組

市民・事業者への啓発強化、新たな品目の資源化など

毎年度、ごみ減量及び資源化の進捗状況と今後の見通しを報告します。

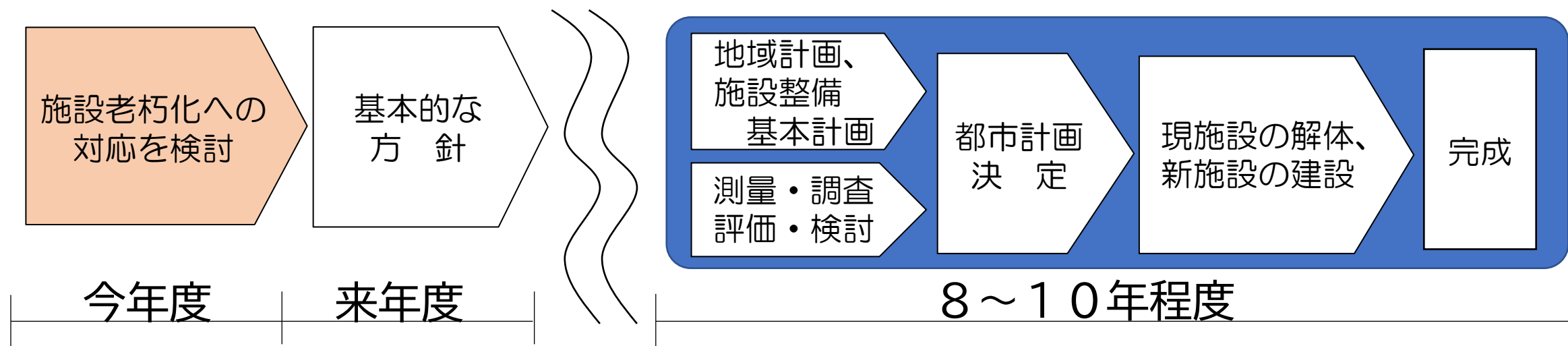
6 質疑応答

連絡調整

1 多摩清掃工場の施設老朽化への対応について

コンサルティング業者からの検討結果の報告

- ・ **最適な建替え時期の検討を開始**

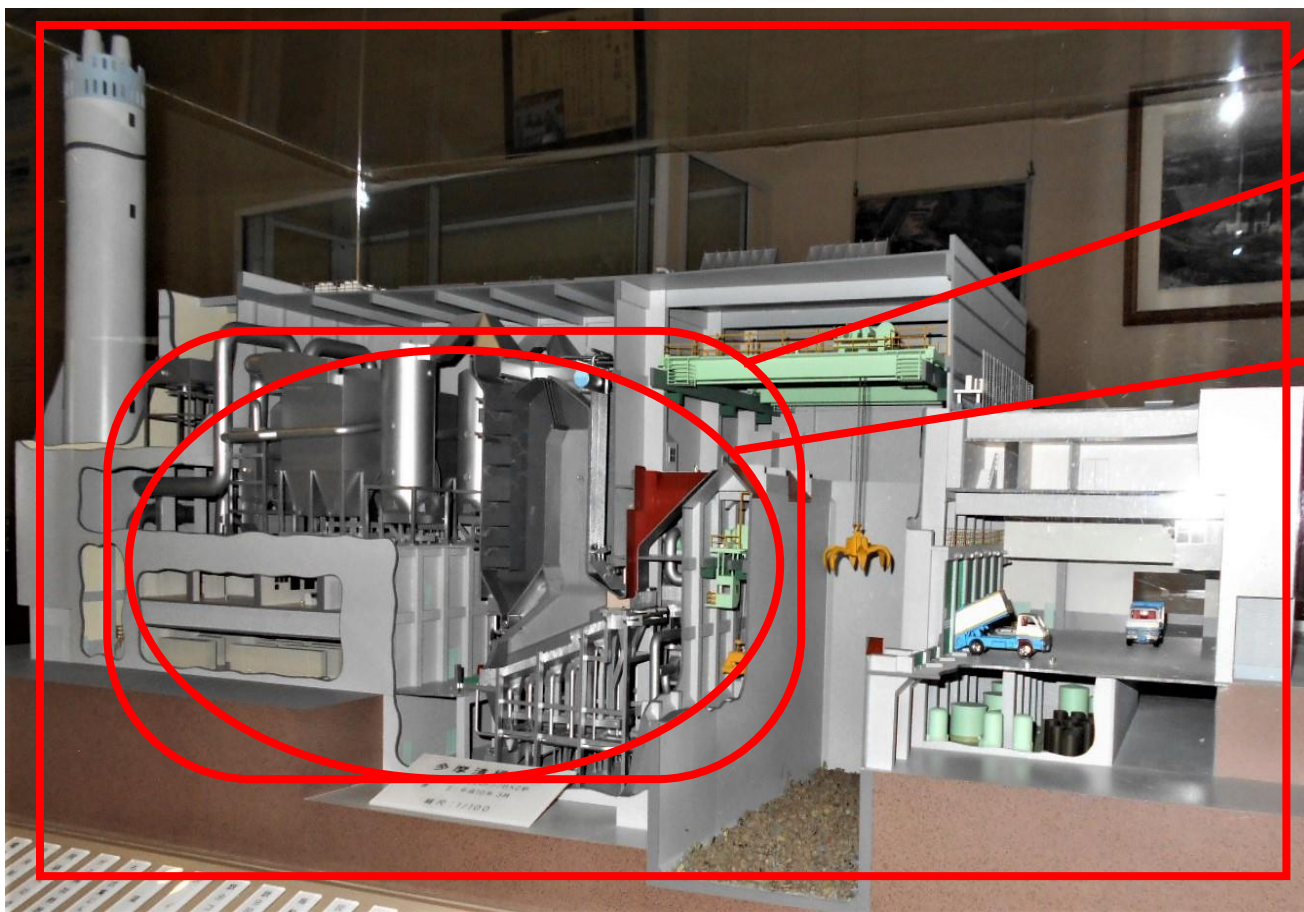


- ・ **清掃工場に係る最近の動向調査**

最新施設の事例紹介/環境性能/有効な地元還元方法/ごみ処理区域の広域化、施設の集約化の動き

(1) 最適な建替え時期の検討について

多摩清掃工場の「最適な建替え時期」も含めた老朽化への対応について、次の3つの方法で検討しました。



① 施設建替え

現在の老朽化した施設を
新施設に建替える方法

② 延命化工事

施設の中のプラント（機械・設備類）
を長く使えるように工事する方法

③ プラント更新

施設の外側の建物はそのまま使用し、
中のプラントを更新する方法

- ・ 建物と更新後のプラントの寿命が合わない
- ・ メンテナンス等が困難

➡ 候補から外れました。

LCC(ライフサイクルコスト)による評価の内容

- ・ 検討対象期間
令和3年度～令和30年度
- ・ 定量的比較
新施設：建設費/建築設備費/人件費/用役費/点検補修費/外部搬出費
延命化：延命化工事費/ 建築設備費/人件費/用役費/点検補修費/外部搬出費
- ・ 定性的比較
発電量/省エネ化/二酸化炭素排出量/信頼性/安定性/機能の向上等
- ・ 費用面
発電収入・交付金・施設の残存価値等

➡それぞれの方法を想定し、工場の性能や費用面を総合的に比較したところ、
①施設建替え が最も良い結果になりました。

費用を低く抑えられる建替え時期を目安に、今後、構成市と調整していきます。

最適な建替え時期の検討について（まとめ）

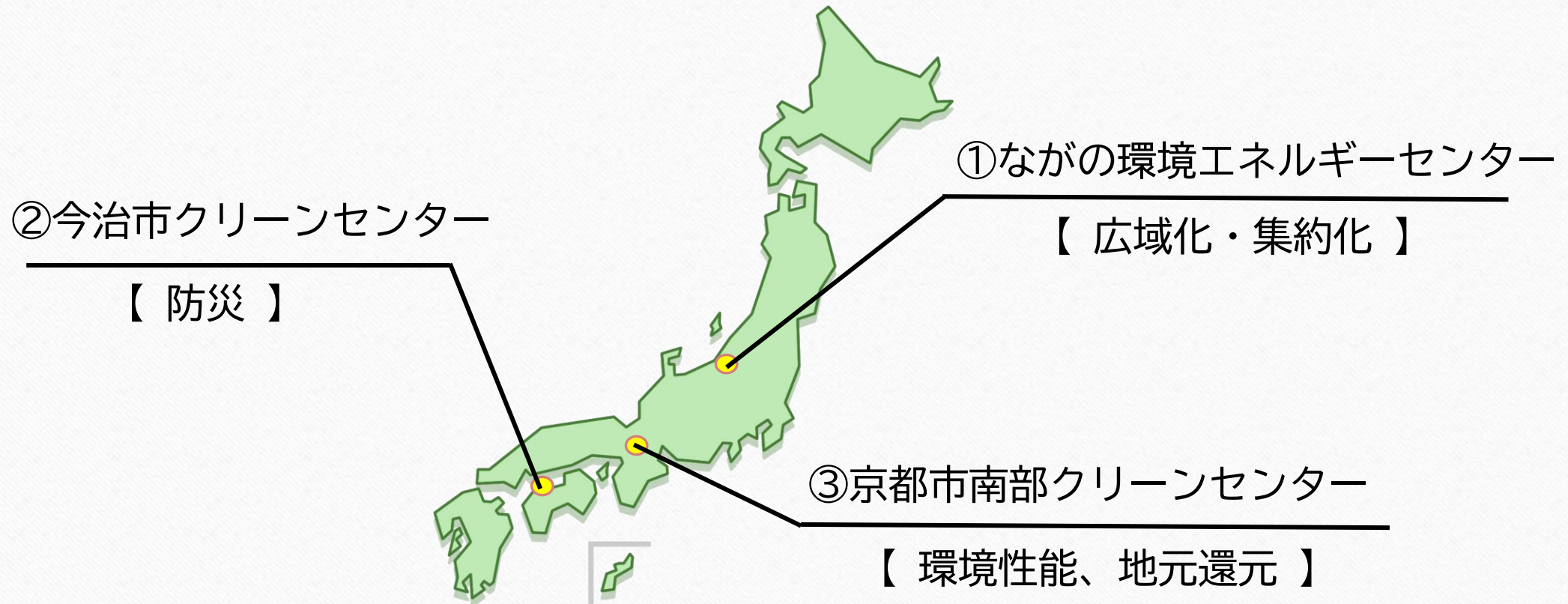
- （１）今回のLLC結果の比較検討により、工場の性能向上や維持管理費用の改善のため、今後「**建替え時期**」について**構成市と検討**します。
- （２）**新施設の機能**や、有効な**地元還元方法等**について、**地元協議会委員**の皆様と**情報共有・意見交換・検討**を重ねていきます。
 - ➡ 検討するうえで参考となる最新施設の視察研修を企画しています。

(2) 清掃施設に係る最近の動向について

- ① 最新施設の事例紹介
- ② 環境性能
- ③ 有効な地元還元方法
 - ・ 防災拠点としての役割
 - ・ 教育や地域文化への貢献、スペースの開放、イベント実施
- ④ ごみ処理区域の広域化・施設の集約化の動き
- ⑤ その他

①最新施設の事例紹介

平成28年度頃から運転を開始した他市の最新清掃工場を調べました。
参考までに、そのうち3つの事例を紹介します。



①ながの環境エネルギーセンター 《長野広域連合》



特徴・設備

- ・ 水害時の緊急避難所として機能する設計になっている。
- ・ 太陽光発電設備を設置。
- ・ 200人分×7日分の保存食・保存水・毛布を備蓄。
- ・ 非常時に炊出しができる「かまどベンチ」、マンホール蓋の上に仮設トイレを設置できる防災トイレ、工場棟屋上のヘリコプター緊急救助用スペース、浮力により自動で機能する「無動力自立式防水堤」等により防災機能を高めている。
- ・ ビデオ、タブレット、体験型ゲームで、ごみ処理の仕組みや施設の機能などが学べる見学者用設備を設置。

- 所在地：長野県長野市松岡二丁目27番1号
- 稼働開始：平成31年
- 延床面積：25,816㎡
- 処理能力：焼却 405 t / 日 (135t/日×3炉)
灰溶融 44 t / 日 (22t/日×2炉)



太陽光発電設備



かまどベンチ

②今治市クリーンセンター



- 所在地：愛媛県今治市町谷甲394番地
- 稼働開始：平成30年
- 延床面積：16,981㎡
- 処理能力：焼却 174 t / 日 (87t/日×2炉)
リサイクルセンター 41 t / 5h

《今治市》

特徴・設備

- ・災害時の避難所として機能する設計になっている。震度6強の地震に耐える耐震設計で、320人の収容を想定し、避難スペースと7日分の食料や衛生用品の備蓄品を確保している。そのほか、非常用発電機やマンホールトイレを備えて**防災機能**を強化している。
- ・環境学習コーナー・研修室・会議室が広く、平常時も災害時も活用できるようになっている。



マンホールトイレ



研修室

③京都市南部クリーンセンター 第二工場 《京都市》



特徴・設備

- ・生ごみを**バイオガス化**し燃料として再利用。大型ごみから出る鉄やアルミニウムは選別し資源にしている。
- ・工場の大部分を**環境学習施設**として活用。煙突は展望台となっていて、AR技術による解説付で周囲を一望可能。1階と2階にラウンジや企画展示スペース、屋上に燃料電池の余熱を利用した足湯や芝生広場を設置。外構は地域環境の復元がテーマのビオトープとなっている。

- 所在地：京都市伏見区横大路八反田29
- 稼働開始：令和元年
- 延床面積：13,460㎡
- 処理能力：焼却施設 500 t / 日 (250t/日×2炉)
バイオガス化施設 60 t / 日 (30t/日×2炉)
選別資源化施設 180 t / 日



バイオガス化施設



煙突展望台及びAR技術による解説



②環境性能

○ 他の最新施設の自主規制値は、次のように定められています。

- ・ダイオキシン類：0.005～0.01ng-TEQ/m³_N（国の定める規制値：1ng-TEQ/m³_N）
- ・水銀：25～50μg /m³_N（国の定める規制値：50μg /m³_N）

➡多摩清掃工場も**同等の自主規制値・環境性能**となっています。

○ ごみの資源化やエネルギーの利活用が進んでいます。

多摩清掃工場を最新施設の性能で試算すると、次のような効果が見込めます。

- ・二酸化炭素排出量排出量：4,000 t /年の減少
- ・発電量：13,300,000kWh/年（一般家庭3,500世帯分相当）の増加

③有効な地元還元方法

・防災拠点としての役割

ごみ処理だけでなく、平常時も災害時も便利な施設となっています。

→ 今治市クリーンセンターは平常時も災害時も機能を発揮する「フェーズフリー」デザインを取り入れている。



• 教育や地域文化への貢献

分別の大切さや環境問題を伝える展示、地域の歴史と工場とのつながりを紹介、
ビオトープの設置（地域の動植物や地形を再現し、学習や環境保護に活用）など

➡ ながの環境エネルギーセンターの
見学者設備はビデオ、タブレット、
体験型ゲームなど、見学者の興味を
引く様々な手法が使われている。



・一般向けスペースの開放、イベント実施

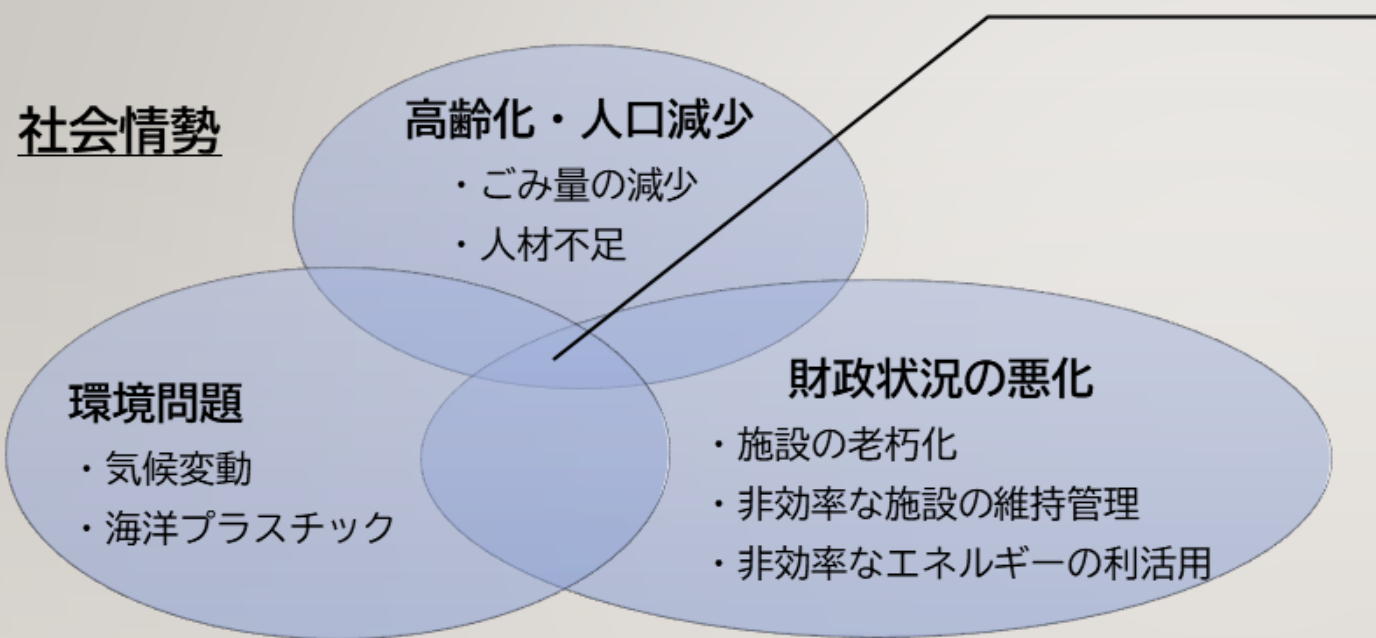
屋上緑化、多目的ルーム、展望スペース、散策や清掃活動をする方の休憩所、
ごみに関連した参加型設備や体験イベント・講習会の実施 など



京都市南部クリーンセンター第二工場の煙突展望台（左）及び屋上芝生広場と足湯（右）

④ごみ処理区域の広域化・施設の集約化の動き

成功した事例では・・・



スケールメリットを活かして

- 人材確保・技術継承
- 施設整備費、処理費及び維持管理費等の削減
- 省エネルギー化
- エネルギーの利活用
- 災害時に広いエリアの施設で連携強化
- 災害に対して施設やシステムを強靱化

バイオマス等の地域資源を活かして

- マテリアル利用の向上
- エネルギー利用の向上

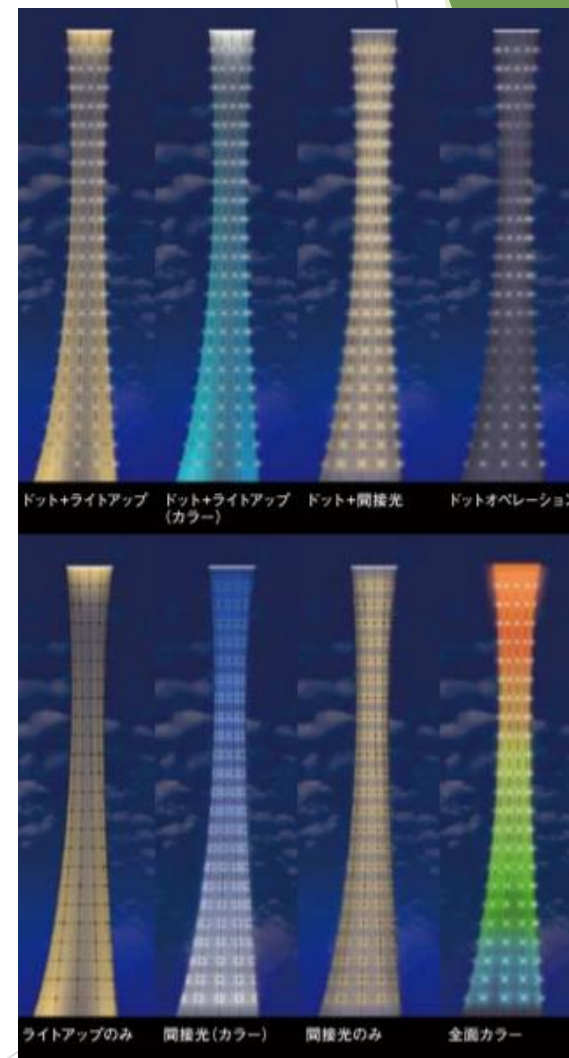
デメリット：すべてのケースでうまくいく訳ではない

低いインセンティブ（延命化工事等の他の交付金も充実）、ごみの収集運搬の負担増加、施設停止の影響が広範囲

⑤その他

新しい地元還元方法に併せて、一般の方々が利用しやすい施設デザインを検討していきます。

○デザインの一例：膜煙突のライティング



清掃施設に係る最近の動向について（まとめ）

- （１）国が定める排ガス基準よりも厳しい自主的な基準を設定し、
優れた環境性能を実現している。
また、ごみの資源化やエネルギーの利活用に力を入れている。
- （２）ごみ処理以外にも、有効な地元還元方法を備えている。
防災機能、発電、余熱供給、見学用設備、環境学習設備など。
- （３）ごみ処理区域の広域化・施設の集約化をして、効率的な維持
管理の実現や、施設・システム強靱化を図っている。

3 最新施設の視察研修について

視察研修（案）

研修目的：ごみ処理以外にも地域貢献を担っている
最近のごみ処理施設を知っていただく。

開始時期：令和5年度から

研修時期：毎年3月頃

視 察 先：最新の環境性能や防災拠点等を備えた、
ごみ処理施設

最新施設の視察研修について気になる点がございましたら、
5月9日（月）までに下記へご連絡・ご相談下さい。

《連絡先》

多摩ニュータウン環境組合（多摩清掃工場） 総務課

電話：042-374-6331

FAX：042-337-5061

メール：soumu@tama-seisokojo.or.jp

個別説明や、出張説明などにも対応致します。

4 質疑応答

5 今後の予定

- ・ 令和4年6月 令和4年度地元協議会委員選出依頼
第3回地元協議会日程調整
- ・ 令和4年8月 《第3回地元協議会》開催
定例報告：多摩清掃工場 令和3年度運営実績
連絡調整：施設老朽化対応の進捗、視察研修の調整 など
- ・ 令和5年3月 《第4回地元協議会》開催
定例報告：多摩清掃工場 令和4年度運営実績、令和5年度事業予定
連絡調整：「多摩清掃工場のあり方に関する基本的な方針」決定報告 など

ご清聴ありがとうございました。

(参考資料) 視察先候補

- ① 浅川清流環境組合
- ② 杉並清掃工場
- ③ 武蔵野クリーンセンター

視察先候補① 浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設



特徴・設備

- ・災害時の避難所として機能する設計になっている。地震や浸水に強く、非常用発電機容量を1,000kw確保し、水・食料・毛布等の物資を120人×7日分備蓄している。飲料水は井戸水なので、上水道が停止しても供給可能。
- ・施設屋上に花火大会用の観覧スペースがある（現在は新型コロナウイルス感染症対策で開放されていない）。
- ・見学者設備が充実。施設と周辺の自然環境について、タブレットによる解説が聞ける展示パネルや、調香師によって科学的に再現したごみの臭いを嗅げる体験コーナーなど。

- 所在地：日野市石田一丁目210番地の2
- 稼働開始：令和2年
- 延床面積：14,998.20m²
- 処理能力：焼却 228 t / 日（114t/日×2炉）



見学者通路の展示パネル



ごみ臭体験室

視察先候補② 杉並清掃工場



- 所在地：杉並区高井戸東三丁目7番6号
- 稼働開始：平成29年
- 延床面積：32,000m²
- 処理能力：焼却 600 t / 日 (300t/日×2炉)

特徴・設備

- ・震災時の救出及び救助の活動拠点として指定されている。
- ・敷地内及び周囲に芝生広場、ビオトープ、ウォーキングロード、足湯があり、地域還元に力を入れている。また、地域のボランティア団体と協力して、バラの栽培管理をしている。
- ・併設の「東京ごみ戦争歴史みらい館」で工場の建設計画への反対運動や和解の経緯などの資料を展示している。



バラの芝生広場



高井戸の里 足湯

視察先候補③ 武蔵野クリーンセンター



特徴・設備

- ・ 平常時から市役所や体育館、コミュニティセンター等の公共施設に電気や蒸気を供給している。
- ・ 災害時には都市ガス(中圧)を燃料とし、ガス・コージェネレーション設備により、焼却炉の再稼働が可能。停電の際にも電気や蒸気の供給も続けることが可能。
- ・ クリーンセンター隣接の広場(エコセメント使用)でイベントを開催している。
- ・ 生ごみから堆肥を作る方法などの、家庭で実践できて役立つ情報を発信したり、体験教室を開催している。
- ・ 屋上に生ごみ堆肥を使った菜園があり見学できる。
- ・ 環境啓発施設「むさしのエコreゾート」を併設。

- 所在地：東京都武蔵野市緑町3-1-5
- 稼働開始：平成29年
- 延床面積：17,000m²
- 処理能力：焼却 120 t / 日 (60t/日×2炉)
不燃 10 t / 5h



コミュニティスペース



屋上菜園「ベジタブル・ガーデン」